

建築基準法第12条第1項に基づく特定建築物の定期調査報告書受付に伴うチェックリスト
【チェック項目一覧】

※ 提出書類、記載事項等を確認の上、定期報告書と共に提出ください。
 ※ 書類の内容に不備がある場合は受付できませんので、ご注意ください。

施設名		報告者または調査者氏名		報告者	大津市	
書類名、箇所等		確認事項		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
提出書類		正本1部、副本1部（電子申請の場合不要）、概要書1部、本チェックリスト ※様式は大津市建築指導課のホームページからダウンロード可				
		委任状（任意様式） ※代理者が提出等の諸手続きを行う場合				
報告書	第1面	3-イ、ハ	調査者	最新の資格登録番号、氏名と調査資格者証との整合 ※建築士以外の調査者には、平成28年6月1日以降の 特定建築物調査員の資格 が必要 ※調査者電話番号に加え、 メールアドレスまたはFAX番号 を記載（電子申請の場合は不要）		
		4-イ	所在地	地番で記入 ※地番が不明の場合は住居表示でも可。その場合は末尾に「(住居表示)」と記入		
		5-イ	指摘の内容	「(□既存不適格)」欄は、指摘内容が 全て 既存不適格の場合にチェック☑		
	第2面	1-イ、ロ	敷地の位置	現在の地域、地区指定を記入。法22条区域の場合は「その他」にチェック☑し、()内に「法22条区域」と記入		
	第3面	1-イ	今回の調査	報告日の 3箇月以内 を確認		
			前回の調査	前回報告日（=提出日）を記入		
			建築設備の検査	本市では、当該指定がないことから、「□未実施」にチェック☑		
		2	調査の状況	全ての 要是正項目について、「指摘の概要」「改善予定の有無」を記入 「(□既存不適格)」欄は、指摘内容が 全て 既存不適格の場合にチェック☑		
			5-イ	不具合等	「有」の場合は、第4面に不具合等の状況を記入	
	6	備考	調査項目が調査結果表中の2(11)外装仕上げ材がタイル・石貼り等（乾式を除く）やモルタル等の場合に該当する場合は、全面的な調査（打診等）の直近の実施時期を記入			
概要書			報告書の記載内容と整合確認 1面5-ロ 指摘の概要には、指摘事項を 全て 記入			
調査結果表		記名等	調査者全員を記入。各調査者の担当者番号			
		調査項目	対象外の調査項目欄は、空欄を 斜線で抹消			
		既存不適格	該当する項目は、「要是正」欄との 両方に○印 を記入			
		4(29)～(31)	常時閉鎖式の防火扉を除く、常閉防火設備が対象です。（常時閉鎖式の防火扉は設備等検査結果表の4(1)、(2)で評価します）			
		4(32)	令112条19項2号に掲げる戸に限ります			
		特記事項	調査結果が要是正及び既存不適格の項目は、全て「特記事項」欄に内容を記入			
定期検査項目表（各設備用）及び別表1～4		添付不要				
建築設備等検査結果表 （様式第5号）		検査項目		非該当の調査項目の欄は、 斜線で抹消		
				自然換気設備とは、機械換気によらず、排気筒、煙突または排気フード付排気筒により排気を行うもの。窓等の換気上有効な開口部のことではないため、該当、非該当を再確認		
				非常用の照明装置の(1)照明器具欄は、必要な箇所に非常用照明が設置されているかを確認して記入（不足がなければ指摘なし）		
				防火設備の項目は、法12条3項に基づく防火設備の定期点検の対象となるものについて(3)～(16)は記入不要、 常時閉鎖式の防火扉は(1)、(2)に記入		

書類名、箇所等		確認事項	報告者 <input checked="" type="checkbox"/>	大津市 <input checked="" type="checkbox"/>
建築設備等検査結果表 (様式第5号)	既存不適格	該当する項目には、「要是正」欄との両方に○印を記入		
	特記事項	要是正（既存不適格を含む）に○印をした項目は、全ての項目ごとに指摘の具体的内容等、改善策の具体的内容等、改善（予定）年月を記入 非常用照明装置が不点灯の場合、照明器具本体、電球または予備電源（バッテリー等）等の原因があるため、原因が特定できないときは全ての場合を想定し記入		
調査結果図（別添1様式）	全般	原則A3サイズで、鮮明なもの 方位および縮尺を記入		
	平面図等	要是正箇所（既存不適格部含む）には、調査結果表の特記事項番号とその内容を全て図示		
関係写真（別添2様式）	写真	既存不適格以外の要是正箇所（指摘のある箇所）の状況がわかる写真を全て添付。（調査結果表の指摘番号も記入）		
		調査結果欄 「□要是正」・「□その他」どちらかにチェック <input checked="" type="checkbox"/>		
調査資格者であることの証明書の写し		資格番号、氏名等は、鮮明なもの H28年6月以前の旧資格「登録調査資格者証」は不可。		
付近見取図	地図全般	縮尺1/2,500程度で、周辺目標物を含む 現在の 地図を利用のこと 方位および縮尺を記入		
	報告地	報告地を着色等により明示		
配置図	全般	方位および縮尺を記入。別添1様式と兼ねることは可		
	道路	建基法上の道路種別（例：法42条1項1号道路）および幅員を記入		
	報告敷地	敷地境界線を着色等で明示		
	報告建物	建物が複数棟ある場合は、報告対象を着色等で明確に表示		
平面図等	全般	図面は原則A3。数値、室名（室用途）等が鮮明なもの 別添1様式と兼ねることも可		
		既存不適格部を含む 全ての 指摘を明示		
		要是正箇所には調査結果表の指摘番号を記入		
	平面図等	屋根伏図を添付		
		縮尺、方位		
		間取り及び各室の用途（室名等） ※ 建築確認後の間取り変更、用途変更の現況を反映したもの		
		開口部の位置、種類（延焼の恐れがある部分の防火設備等）		
		防火設備・特定防火設備の明示（ 随時閉鎖式 はその旨も明示）		
		延焼の恐れがある部分（ 青線 ）		
		防火区画（ 赤色 ）/防火上主要な間仕切（ 黄色 ）/排煙区画（ 緑色 ） また、貫通する換気設備（風道、給・排気口等を含む）等がある場合は、その位置の明示 ※凡例も記入		
昇降機の位置（EV）、小荷物専用昇降機				
非常用進入口の位置明示（▼マーク）				
機械換気設備、機械排煙設備の位置を明示（ 要是正は着色 ）				
非常用の照明装置の位置を明示（ 要是正は着色 ）				
その他 (市使用欄)				